



平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年9月5日

上場取引所 大

上場会社名 神島化学工業株式会社

コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 平成23年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第1四半期の業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	4,276	—	229	—	193	—	146	—
23年4月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	15.97	—
23年4月期第1四半期	—	—

(注)平成23年4月期第1四半期は連結で開示しております。このため、前第1四半期連結累計期間との比較は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年4月期第1四半期	16,437	4,283	26.1	467.29
23年4月期	16,582	4,190	25.3	457.13

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 4,283百万円 23年4月期 4,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年4月期	—	—	—	—	—
24年4月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	3.7	360	△19.9	260	△26.9	150	78.3	16.36
通期	16,800	0.4	900	3.7	700	3.9	400	5.8	43.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期1Q	9,240,000 株	23年4月期	9,240,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年4月期1Q	73,759 株	23年4月期	72,397 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期1Q	9,166,767 株	23年4月期1Q	9,170,574 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. (参考) 前四半期に係る四半期損益計算書	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による原発問題、それに関連した電力不足の問題、更に急激な円高、燃料価格高騰もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場におきましては、震災による影響から東北地区の需要は減少したものの、政府による各種住宅取得支援政策に下支えされ、平成23年4月から6月までの新設住宅着工戸数は203,170戸（対前年度比4.1%）と若干回復基調にありました。

このような経済・経営環境の中、主力の建材事業では、震災後の日本経済の復興に寄与すべく全社一丸となり生産体制の効率化に取り組み、また化成品事業におきましても震災による影響は少なく、国内、輸出ともに堅調に伸びた結果、売上高は4,276百万円、営業利益は229百万円、経常利益は193百万円となり、四半期純利益は146百万円となりました。

なお、前年同四半期は、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期比較は行っておりません。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

建材事業におきましては、前記のとおり、震災後の日本経済の復興に寄与すべく生産体制の効率化に取り組んだことなどから、売上高は3,106百万円、セグメント利益（営業利益）は183百万円となりました。

化成品事業におきましても、前記のとおり、国内売上は震災の影響は少なく、海外輸出売上は韓国、中国向けの商品が好調に伸びたことにより、売上高は1,169百万円、セグメント利益（営業利益）は148百万円となりました。

なお、当第1四半期累計期間より工業薬品事業から化成品事業に事業名称を変更しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の総資産は16,437百万円となり、前事業年度末（以下前年度）に比べ145百万円減少いたしました。このうち、流動資産は9,630百万円と前年度に比べ40百万円増加いたしました。主な増減要因は、現金及び預金127百万円減少、受取手形及び売掛金88百万円増加、たな卸資産117百万円増加によるものであります。

また、固定資産は6,806百万円と前年度に比べ186百万円減少いたしました。主な増減要因は、有形固定資産177百万円減少によるものであります。

負債につきましては、負債合計12,154百万円と前年度に比べ237百万円減少いたしました。主な増減要因は、仕入債務83百万円減少、未払金213百万円減少によるものであります。

純資産につきましては、純資産合計4,283百万円と前年度に比べ92百万円増加いたしました。主な増減要因は、四半期純利益146百万円、配当金の支払55百万円により利益剰余金が91百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は予想を上回るペースで推移しましたが、第2四半期は、震災影響の剥落も見込まれ業績の見込みが立ちにくいことから、平成23年6月10日公表の第2四半期（累計）個別業績予想を保守的に据え置く事といたします。

また下期については、住宅着工戸数の復興も予想されるのですが、他方夏場の電力供給問題や円高による輸出の伸び悩み、更に政府による各種住宅取得支援政策の縮小・終了が予定されていることから、景気の先行きは見通しづらい状況であり、通期の個別業績予想に関しましても、平成23年6月10日公表の業績予想を据え置く事といたします。

今後の動向を慎重にフォローの上、業績予想の見直しが必要となった場合には速やかに予想修正いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,802	1,674
受取手形及び売掛金	4,561	4,650
商品及び製品	1,936	2,015
仕掛品	420	458
原材料及び貯蔵品	560	560
繰延税金資産	253	225
その他	88	79
貸倒引当金	△32	△33
流動資産合計	9,589	9,630
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,282	2,245
機械及び装置（純額）	2,372	2,225
土地	1,252	1,252
その他	159	165
有形固定資産合計	6,067	5,889
無形固定資産	45	44
投資その他の資産		
投資有価証券	470	470
繰延税金資産	308	303
その他	172	175
貸倒引当金	△70	△76
投資その他の資産合計	880	873
固定資産合計	6,993	6,806
資産合計	16,582	16,437

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,194	3,111
短期借入金	1,890	1,880
1年内返済予定の長期借入金	2,075	2,009
未払金	664	450
未払費用	195	198
賞与引当金	198	90
設備関係支払手形	150	203
その他	71	178
流動負債合計	8,440	8,122
固定負債		
長期借入金	3,126	3,219
退職給付引当金	755	745
役員退職慰労引当金	67	65
その他	2	2
固定負債合計	3,951	4,031
負債合計	12,392	12,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	1,870	1,961
自己株式	△25	△25
株主資本合計	4,243	4,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△52	△51
評価・換算差額等合計	△52	△51
純資産合計	4,190	4,283
負債純資産合計	16,582	16,437

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	4,276
売上原価	3,105
売上総利益	1,171
販売費及び一般管理費	942
営業利益	229
営業外収益	
受取配当金	9
破損損害金	4
雑収入	3
営業外収益合計	17
営業外費用	
支払利息	42
雑支出	9
営業外費用合計	52
経常利益	193
特別損失	
固定資産除却損	5
固定資産処分損	4
特別損失合計	9
税引前四半期純利益	183
法人税、住民税及び事業税	3
法人税等調整額	34
法人税等合計	37
四半期純利益	146

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)

第1四半期累計期間においては、当社グループ(当社及び連結子会社)のセグメント情報を開示しており、当社のセグメント情報は開示していません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	建材事業	化成品事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,106	1,169	4,276	—	4,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,106	1,169	4,276	—	4,276
セグメント利益	183	148	332	△103	229

(注) 1 当第1四半期累計期間より「工業薬品事業」から「化成品事業」に事業名称を変更しております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△103百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

該当事項はありません。

4. (参考) 前四半期に係る四半期損益計算書

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

四半期損益計算書 (個別)

【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	3,909
売上原価	2,889
売上総利益	1,020
販売費及び一般管理費	892
営業利益	127
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	9
雑収入	8
営業外収益合計	19
営業外費用	
支払利息	52
雑支出	10
営業外費用合計	62
経常利益	84
特別利益	
投資有価証券売却益	1
特別利益合計	1
特別損失	
投資有価証券評価損	92
役員退職慰労金	41
固定資産除却損	3
特別損失合計	138
税引前四半期純損失(△)	△ 51
法人税、住民税及び事業税	3
法人税等調整額	19
法人税等合計	22
四半期純損失(△)	△ 73